

INTERIM BUSINESS REPORT

第 90 期 中間報告書

2019.1.1 ▶ 2019.6.30

市光工業株式会社





当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の悪化傾向が顕著となったことに加え、米中貿易摩擦や海外経済の減速から輸出が弱含んで推移するなど、景気動向に陰りがみられる状況となりました。世界経済においては、北米は消費や雇用など景気指標は総じて良好な水準を維持した一方、中国は昨年までの投資抑制策や米国による関税引き上げによって、経済は減速傾向を示しました。アセアンの新興国については、中国の景気減速の影響から輸出が落ち込むなど、堅調に推移してきた景気にやや弱さがみられるようになりました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、日本国内の自動車生産台数は後半に伸長し前年同期比では増加となりました。アセアンの自動車生産は、マレーシアやインドネシアの生産は増加しましたが、タイの生産は減少となり、アセアン3カ国の合計では自動車生産台数は前年同期比でほぼ横ばいとなりました。また、中国の自動車生産台数は、景気減速の影響から特に乗用車の生産がふるわず、前年同期比で減少しました。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間においては、アセアンの海外子会社の合算ベースでは増収増益を確保しました。一方で、日本国内は、昨年来の好調な車種の増産は継続したものの輸出車種を中心とする減産などの影響や、研究開発費などの費用の増加により、前年同期比で減収減益となりました。この結果、売上高は66,906百万円(前年同期比6.0%減)、営業利益は4,016百万円(前年同期比19.9%減)となりました。また、中国合弁会社の持分法による投資利益の減少により経常利益は4,172百万円(前年同期比29.8%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,756百万円(前年同期比40.9%減)となりました。

また、配当につきましては、当社は株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題と考えており、長期的な見通しを視野に入れ、安定的で継続的な配当を行うことを基本方針としております。2019年6月期の中間配当につきましては、中間配当は1株当たり3円50銭とさせていただきます。

2019年12月期の業績予想につきましては、売上高は1,340億円、営業利益は78億円、経常利益は74億円、親会社株主に帰属する当期純利益は50億円を見込んでおりますが、今後様々な要因により、現時点での予想とは異なる結果になりえることをご承知おきください。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 Heiko Sauer(サワー ハイコー)

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'Heiko Sauer', written in a cursive style.

最先端工場、厚木製造所 竣工

リーン生産方式により、2019年7月から生産開始

ICHIKOHは、中期経営計画に沿った事業の成長に対応するため、神奈川県厚木市に自動車用ランプの製造拠点として、厚木製造所を新設しました。厚木製造所は2018年2月から建設工事を進めていましたが、2019年6月3日に完成し、竣工式を行いました。同製造所は伊勢原製造所の生産を徐々に移管していく目的で新設された工場であります。

竣工式の冒頭、サワー社長は「ここ厚木製造所では、ヴァレオの革新的な生産コンセプトに基づく“リーン生産方式”^{*}を採用し、協働ロボット、無人搬送車AGV、自動倉庫管理といった自動化も取り入れています。これら新技術による『最先端の工場』で、競争力・品質向上を実現し、お客様のニーズとご期待にお応えすることにより、顧客満足の最大化が可能になると確信しております。また、新工場はお客様から委ねられる全新規プロジェクトの生産が可能となる規模を備えており、中期経営計画に沿った事業成長を実現します。」と挨拶しました。

新たな出発をする厚木製造所は伊勢原製造所に近接しており、地域雇用の維持・創出に繋がると共に、事業継続管理（BCM：Business Continuity Management）も強化します。

ICHIKOHの更なる飛躍の中心拠点となる厚木製造所から新時代の新製品を続々と送り出してまいります。

厚木製造所の概要

所在地：神奈川県厚木市下古沢

敷地面積：約64,000㎡

生産開始：2019年7月

生産品目：自動車用ランプ

^{*} リーン生産方式：材料から製品までの効率的な一貫生産ライン。



厚木製造所正面外観

(要約) 四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 2019年6月30日現在	前連結会計年度末 2018年12月31日現在
資産の部		
流動資産	47,541	43,589*
固定資産	58,650	58,826*
有形固定資産	38,842	39,048
無形固定資産	1,370	1,309
投資その他の資産	18,437	18,467*
資産合計	106,191	102,416
負債の部		
流動負債	44,831	46,853*
固定負債	19,054	15,565*
負債合計	63,885	62,418
純資産の部		
株主資本	43,592	41,239
その他の包括利益累計額	△2,478	△2,441
非支配株主持分	1,192	1,199
純資産合計	42,305	39,997
負債及び純資産合計	106,191	102,416

(注) 1. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」にともなう表示金額の変更がございます。(＊印)
2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計 2019年1月1日から 2019年6月30日まで	前第2四半期累計 2018年1月1日から 2018年6月30日まで
売上高	66,906	71,168
売上原価	52,612	56,373
売上総利益	14,294	14,794
販売費及び一般管理費	10,277	9,777
営業利益	4,016	5,017
営業外収益	394	1,593
営業外費用	238	669
経常利益	4,172	5,941
特別利益	0	1
特別損失	176	128
税金等調整前四半期純利益	3,996	5,814
法人税等	1,232	1,108
四半期純利益	2,764	4,705
非支配株主に帰属する 四半期純利益	7	39
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,756	4,665

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期累計 2019年1月1日から 2019年6月30日まで	前第2四半期累計 2018年1月1日から 2018年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,780	12,133
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,829	△2,442
財務活動によるキャッシュ・フロー	452	△8,721
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21	△82
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,617	886
現金及び現金同等物の期首残高	10,215	9,422
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,597	10,308

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (2019年6月30日現在)

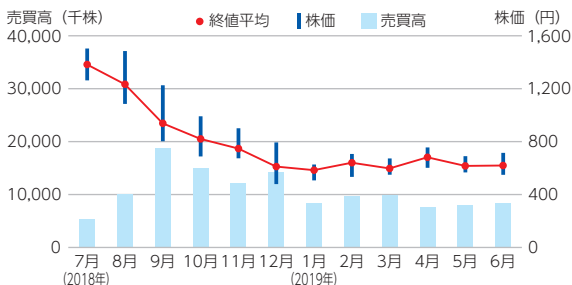
発行済株式の総数	96,292,401株
発行可能株式総数	200,000,000株
株 主 数	6,249名

大株主 (上位10名)

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
ヴァレオ・バイエン	58,791 千株	61.15 %
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	4,817	5.01
株式会社みずほ銀行	4,775	4.96
ダイハツ工業株式会社	2,712	2.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,746	1.81
BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ ABERDEEN STANDARD SICAV I CLIENT ASSETS	1,700	1.76
BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ FIM/LUXEMBOURG/ FUNDS UCITS ASSETS	1,100	1.14
日本生命保険相互会社	1,040	1.08
JP MORGAN CHASE BANK 385151	834	0.86
三協株式会社	586	0.61

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (164,036株) を控除して計算しています。また、表示単位未満を切り捨てて表示しています。
 2. 発行済株式の総数の10分の1以上の数を保有する大株主1名を含め、上位10名の株主を記載しています。
 3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、4,817千株であります。

株価および株式売買高の推移



取締役および監査役 (2019年6月30日現在)

代表取締役会長	オードバディ アリ
代表取締役社長	サワー ハイコー
取締役	宮下和之
取締役	中野秀男
取締役	白土秀樹
取締役	ヴィラット クリストフ
取締役	ティヴォアヨン ブルーノ
取締役	マルテネッリ マウリッツオ
社外取締役	青松英男
社外取締役	デルマス ベルナル
常勤監査役	橋本寿来
社外監査役	鶴巻 暁
社外監査役	スベストル ピエール

(注) 社外取締役デルマス ベルナルは、2019年7月31日付にて辞任いたしました。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から同年12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金配当支払株主確定日	毎年12月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年6月30日
基準日	毎年12月31日 (そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
公告掲載方法	当社ホームページ http://www.ichikoh.com/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
単元株式数	100株

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

会社概要 (2019年6月30日現在)

商号	市光工業株式会社
設立	1939 (昭和14) 年12月20日
資本金	8,986,364,953円
従業員数	連結 3,964 (2,063) 名 単体 1,869 (939) 名
(注) 従業員数は契約期間に定めのない従業員であり、パートおよび派遣社員など、契約期間に定めのある従業員は () 内に期間中の平均人員を外数で記載しています。	
本店	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地 TEL .0463 (96) 1451 FAX .0463 (96) 2080
ホームページのご案内	会社案内、新製品情報、採用情報、株主・投資家情報などの企業情報を掲載しております。 http://www.ichikoh.com/

ICHIKOH

a Valeo company

市光工業株式会社

〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地

TEL.0463-96-1451 FAX.0463-96-2080

URL : <http://www.ichikoh.com/>

UD
FONT

見やすく読みまちがえ
にくいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。

